

2021年10月14日

各位

会社名 U U U M 株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員兼CEO 鎌田 和樹  
(コード番号：3990 東証マザーズ)  
問合せ先 常務執行役員 渡辺 崇  
(TEL. 03-5414-7258)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年7月14日の2021年5月期通期決算発表時に開示した2022年5月期（2021年6月1日～2022年5月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（2021年6月1日～2022年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	24,500	830	820	470	23.80
今回修正予想（B）	18,600～21,900	500～830	480～820	250～470	12.65～23.78
増減額（B－A）	△5,900～△2,600	△330～0	△340～0	△220～0	－
増減率（％）	△24.1～△10.6	△39.8～0	△41.5～0	△46.8～0	－
（ご参考）前期実績 （2021年5月期）	24,488	815	855	549	27.90

#### 2. 修正の理由

「収益認識に関する会計基準」の適用によるアドセンス売上への影響について、従来はアライアンス先のアドセンス売上が総額計上から純額計上になる点を見込んでおりましたが、クリエイターとの契約変更に伴い、所属クリエイターのアドセンス売上についても期中より総額計上から純額計上に変更することとなりました。また、上記に加えて、第2四半期以降のクリエイター契約変更による粗利益への影響や広告市況の先行き不透明感によるアドセンス売上や広告売上への影響を考慮いたしました。費用面では、本社オフィスの一部を返却することによる地代家賃の減少（オフィス関連の償却費と合わせて173百万円の減少）等を織り込んでおります。

上記の結果、2022年5月期の業績予想を修正いたします。なお、クリエイターとの契約変更のタイミングが流動的であることや広告市況の先行きが読みづらいことなどを考慮し、売上、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれレンジ形式による業績予想開示を行っております。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

以上